科目名	ファイナンシャルプランナー1						年度	2025	
英語科目名	Financial Planner 1						学期	前期	
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必/選	選	時間数	45	単位数	3	種別※	講義
担当教員	兒玉 奉恵		教員の実務経験	有	実務経験の職種	会計事務所			

【科目の目的】

この授業の目的は、学生が個人や家族の経済的な側面を適切に管理し、将来の計画を立てるための基本的な知識と理解を身につけることです。金融や税制、不動産、保険など幅広いトピックに関する基礎的な情報を習得することで、将来の資産形成やリスク管理に向けた計画を立てるための基本的なスキルを養います。

【科目の概要】

この科目では、生活に密接に関わる金融、税制、不動産、住宅ローン、保険、教育資金、年金制度などの幅広い基礎知識に焦点を当てて学びます。個人や家族の将来のために賢明な金融計画を立てる際に必要な情報とスキルを提供し、ファイナンシャルプランニングの基本を習得します。

【到達目標】

基礎知識の習得
 問題解決力と提案
 コミュニケーションスキル
 実践的な知識の応用
 トピックの総合理解

【授業の注意点】

この授業では、各項目の説明した後、課題に取り組む。
 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗により授業内容が前後する場合もある。開講時間が変更になる場合もある。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	幅広い生活にかかわるトピックに関する基礎知識を深く理解し、実生活での適用が可能である	幅広い生活にかかわるトピックに関する基礎知識を正確に理解し、実生活での適用が可能である	幅広い生活にかかわるトピックに関する基礎知識を一部理解し、実生活での適用が可能である	生活にかかわる基礎知識が限定的であり、実生活での適用が難しい	生活にかかわる基礎知識を理解せず、実生活での適用ができていない
到達目標 B	複雑な金融や税制、不動産、保険などの問題に対して、適切な解決策や提案を導き出し、理由を説明できる	金融や税制、不動産、保険などの問題に対して正確な解決策や提案を導き出し、理由を説明できる	金融や税制、不動産、保険などの問題に対して一部解決策や提案を導き出し、理由を説明できる	問題解決や提案が限定的であり、説明が不十分である	問題解決や提案が不十分であり、適切な理由付けができていない
到達目標 C	複雑なファイナンシャルトピックを明確に説明し、他者と円滑なコミュニケーションを図るスキルを持つ	ファイナンシャルトピックを明確に説明し、他者とコミュニケーションを図るスキルを持つ	ファイナンシャルトピックを一部説明し、他者とコミュニケーションを図るスキルを持つ	コミュニケーションが限定的であり、説明や対話が不十分である	ファイナンシャルトピックを理解せず、コミュニケーションが困難である
到達目標 D	習得した基礎知識を実生活のシーンで適切に応用し、個人の金融計画やリスク管理に効果的に活用する	習得した基礎知識を実生活のシーンで正確に応用し、個人の金融計画やリスク管理に活用する	習得した基礎知識を実生活のシーンで一部応用し、個人の金融計画やリスク管理に活用する	基礎知識の応用が限定的であり、効果的な活用が難しい	基礎知識の応用が不十分であり、実生活での活用ができていない

到達目標 E	幅広いファイナンシャルトピックを総合的に理解し、それらの関連性を把握することができる	幅広いファイナンシャルトピックを正確に理解し、それらの関連性を把握することができる	幅広いファイナンシャルトピックを一部理解し、関連性を把握することができる	トピックの理解が限定的であり、関連性を把握することが難しい	トピックの理解が不十分であり、関連性を把握することができていない
-----------	--	---	--------------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

【教科書】

【参考資料】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 90% 試験と課題を総合的に評価する
平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ファイナンシャルプランナー1			年度	2025
英語表記		Financial Planner 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ファイナンシャルプランニングの基本	ファイナンシャルプランニングの基本的な概念を理解する	1 ファイナンシャルプランニングの定義	ファイナンシャルプランの作成	3	
			2 プランニングのプロセス	クライアントとの対話スキル		
			3 個人とのコミュニケーション			
2	財務目標設定	クライアントの財務目標を設定する方法を学ぶ	1 目標設定のプロセス	クライアントの目標特定	3	
			2 長期および短期の目標	目標の設定と優先順位付け		
			3 目標の優先順位付け			
3	資産評価とネットワース計算	クライアントの現在の資産状況を評価する	1 資産と負債のリスト作成	資産評価	3	
			2 ネットワースの計算	ネットワース計算		
			3			
4	税制と税金計画	税制度と税金計画の基本を理解する	1 所得税、資産税、相続税などの税金	税金計画の立案	3	
			2 節税戦略	節税戦略の提案		
			3			
5	不動産投資	不動産投資に関する基本的な知識を獲得する	1 不動産投資のメリットとリスク	不動産投資の評価	3	
			2 不動産市場の分析	不動産取引のアドバイス		
			3			
6	住宅ローンと債務管理	住宅ローンの取得と債務管理の戦略を学ぶ	1 住宅ローンの種類	住宅ローン申請のサポート	3	
			2 返済計画	債務管理の提案		
			3 債務の管理方法			
7	保険プランニング	保険に関する基本的な知識を獲得し、クライアントの保険ニーズを評価する	1 保険の種類	保険プランの設計	3	
			2 保険プランニングのプロセス	保険料の見積もり		
			3 保険料の計算			
8	教育資金計画	教育資金計画の基本を理解し、教育資金の準備をサポートする	1 教育資金の必要性	教育資金計画の策定	3	
			2 留学費用	奨学金のアドバイス		
			3 奨学金オプション			
9	退職計画と年金	退職計画と年金制度について学び、クライアントの退職準備を支援する	1 退職計画の策定	退職計画の立案	3	
			2 年金制度の理解	年金制度の説明		
			3 退職資産の最適化			
10	投資戦略	投資戦略の基本を理解し、クライアントの投資ポートフォリオを構	1 投資タイプ	投資戦略の策定	3	
			2 リスク許容度	ポートフォリオの構築		

		築する	3	ポートフォリオの多様化		
11	リタイアメントプランニング	リタイアメントプランの作成と最適化方法を学ぶ	1	リタイアメントプランの要素	リタイアメントプランの立案	3
			2	引退後の収入	引退後のライフスタイル設計	
			3	ライフスタイルの調整		
12	遺産計画と相続	遺産計画と相続に関する基本的な知識を獲得し、クライアントの遺産の保全を支援する	1	遺言書	遺言書の作成支援	3
			2	相続税	相続計画の提案	
			3	資産の分配		
13	リスク管理と緊急時対応	リスク管理戦略と緊急時の対応策を学ぶ	1	災害、失業、健康問題に対するリスク対策	リスク管理戦略の提案	3
			2	緊急時の資金調達	緊急時の対応策のアドバイス	
			3			
14	プランの最終化とクライアント対応	ファイナンシャルプランの最終化とクライアント対応のスキルを向上させる	1	プランの最終調整	ファイナンシャルプランの最終化	3
			2	クライアントの質問と懸念への対応	クライアント対応スキル	
			3			
15	ファイナンシャルプランナーとしてのキャリア	ファイナンシャルプランナーとしてのキャリアの展望と倫理的な側面を探究する	1	ファイナンシャルプランナーの倫理	ファイナンシャルプランナーとしてのキャリア戦略の立案	3
			2	資格		
			3	キャリアの選択肢		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						